

<ソーシャルワーク実践研修>

「すぐそばにある貧困、コロナ禍における 社会的孤立と困窮者支援」

～困窮者支援の今とアフターコロナにむけて必要なこと、貧困に絶望しないために～

(公社)北海道社会福祉士会生活困窮者支援委員会主催

新型コロナウイルス感染症による社会情勢の不安定さは未だ収束の目途が立っておらず、今後より一層の支援が求められています。

本研修では、コロナ禍における困窮者支援の現場において第一線で活動し、困窮されている方にとって正に必要な政策提言を行われている講師から困窮者支援や社会的孤立の実情、今求められていること等について学び、専門職としての私たちができることを語り合い、考えることを通じて、ソーシャルワーク実践の質の向上を図ることを目的として開催します。



講師： **大西 連 氏**
おおにし れん

1987年、東京生まれ。

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長

新宿ごはんプラス共同代表、社会福祉法人日本いのちの電話理事

内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与、

政府のSDGS推進円卓会議構成員 ほか

※生活困窮者への相談支援活動に携わりながら、国内の貧困問題、生活保護や社会保障制度について、現場からの声を発信、政策提言している。

著書 『すぐそばにある「貧困」』（2015年ポプラ社）

『絶望しないための貧困学』（2021年ポプラ社）

日時／2021年12月5日（日）13:30～16:30（入室受付13:00～）

開催方法／WEB会議ツールZoomを利用したのオンライン

申込締切／11月22日（月）

定員／40名（定員になり次第締切）

受講費／会員1,000円、非会員2,000円、学生500円

講師の書籍代を含みます（『絶望しないための貧困学』）

申込はこちら→

